

西南日本の深部低周波微動・短期的スロースリップ活動状況 (2025年11月～2026年1月) その1



防災科研



- 短期的スロースリップイベントを伴う顕著な微動活動：
四国西部から豊後水道，1月1日～7日。
- 上記以外の主な微動活動：紀伊半島中部，11月9日～16日。
紀伊半島西部，12月1日～6日。四国東部から中部，1月21日～28日。
四国中部，11月18日～23日。四国中部から西部，12月4日～12日。

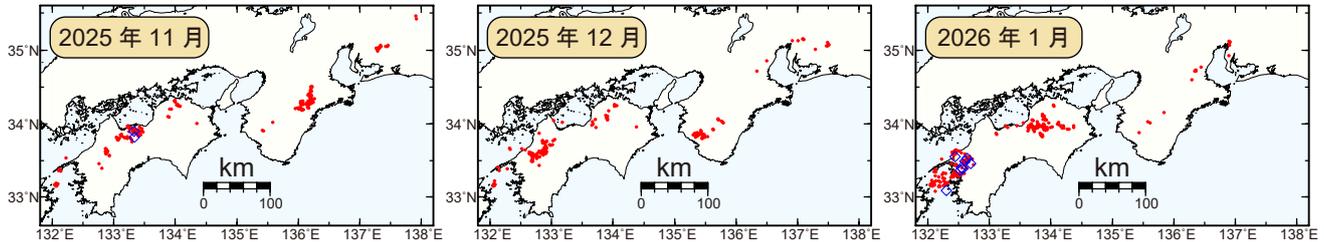


図1. 西南日本における2025年11月～2026年1月の月毎の深部低周波微動活動。赤丸はエンベロープ相関・振幅ハイブリッド法 (Maeda and Obara, 2009) およびクラスタ処理 (Obara et al., 2010) において、1時間毎に自動処理された微動分布の重心である。青菱形は周期20秒に卓越する深部超低周波地震 (Ito et al., 2007) である。

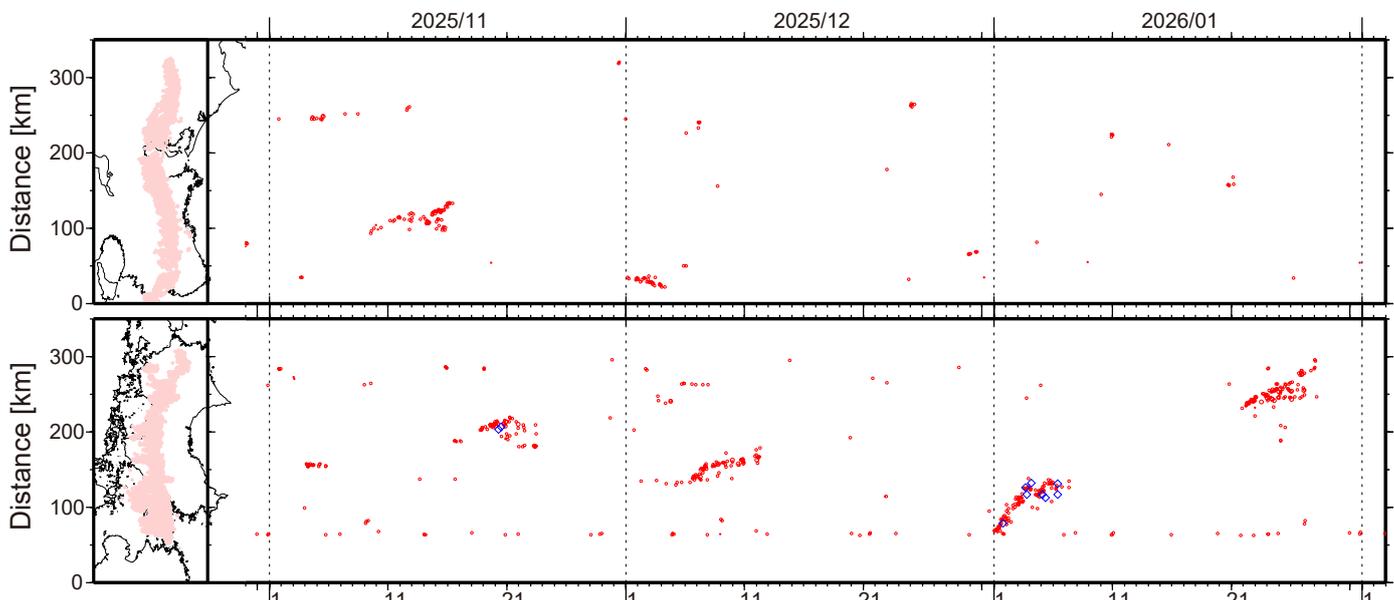


図2. 2025年10月30日～2026年2月2日の深部低周波微動 (赤) および深部超低周波地震 (青菱形) の時空間分布。

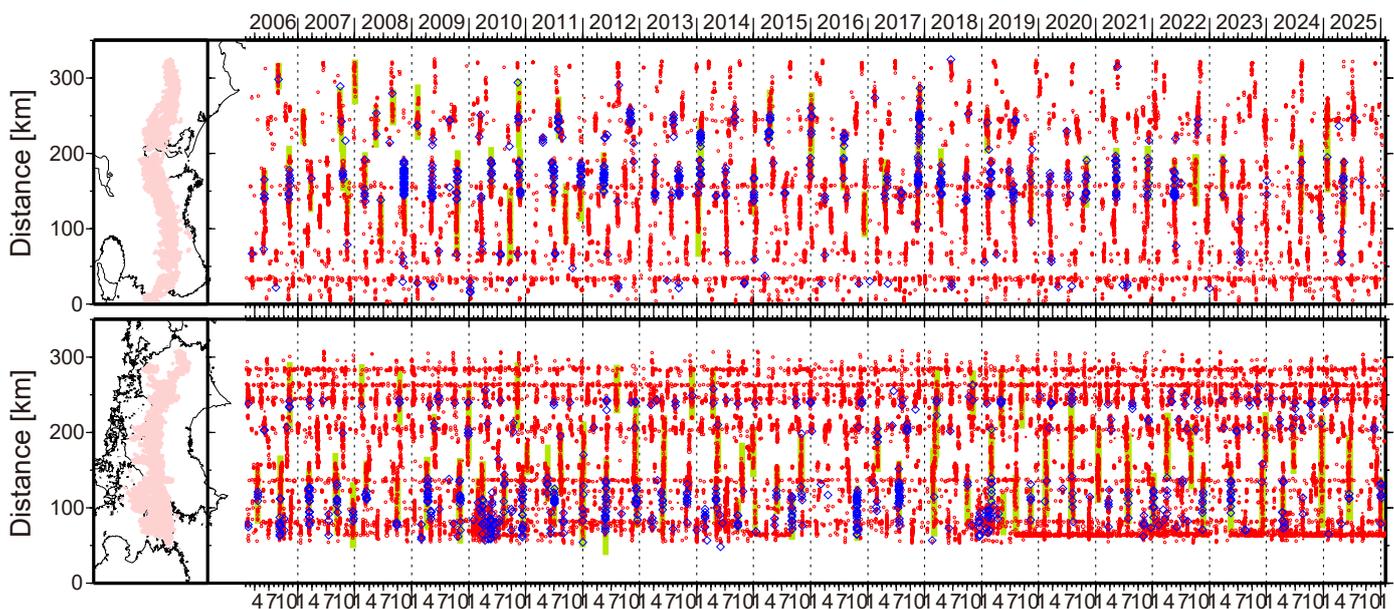


図3. 2006年2月～2026年2月2日までの深部低周波微動 (赤) および深部超低周波地震 (青菱形) の時空間分布。緑太線は、傾斜変動から検出された短期的スロースリップイベント。

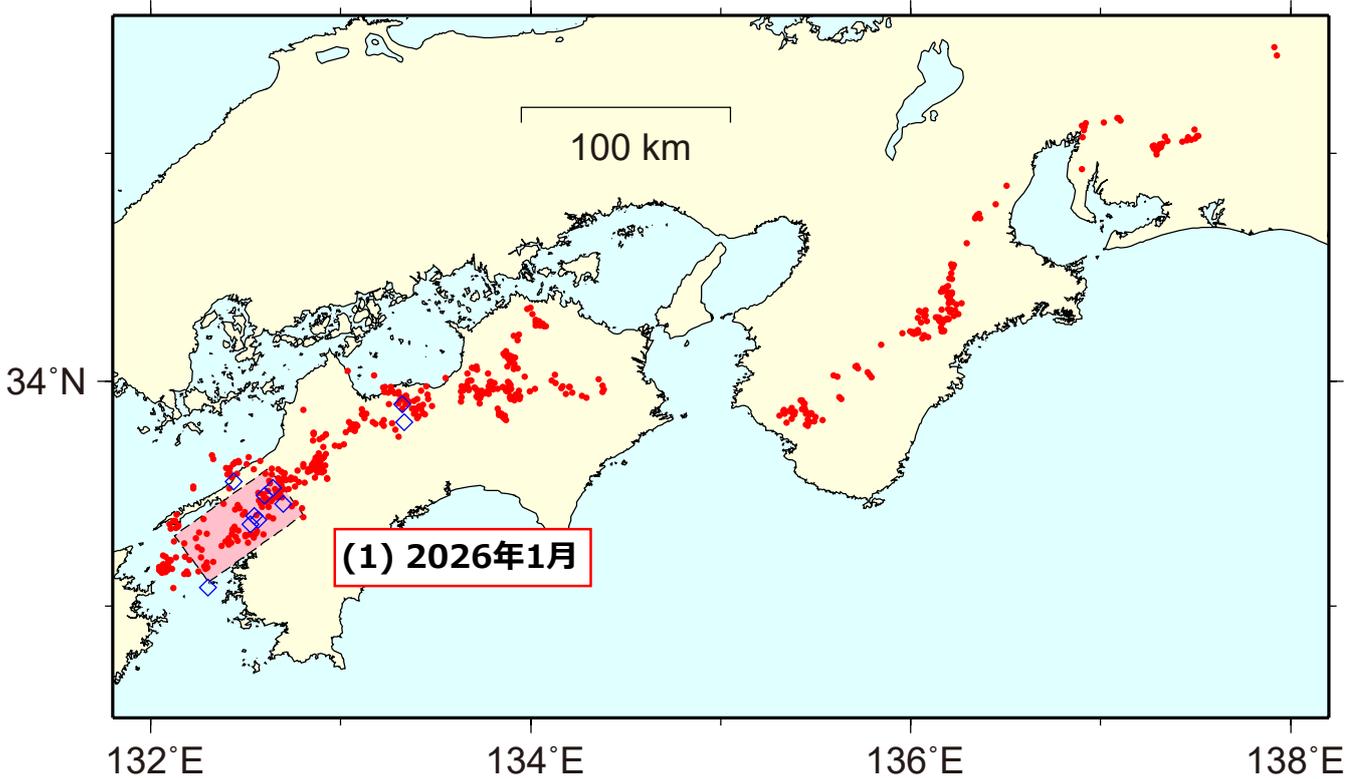


図1：2025年11月1日～2026年1月31日の深部低周波微動（赤点），深部超低周波地震（青菱形），短期的スロースリップイベント（SSE：ピンク四角）。

1. 2026年1月 四国西部（Mw 5.9）

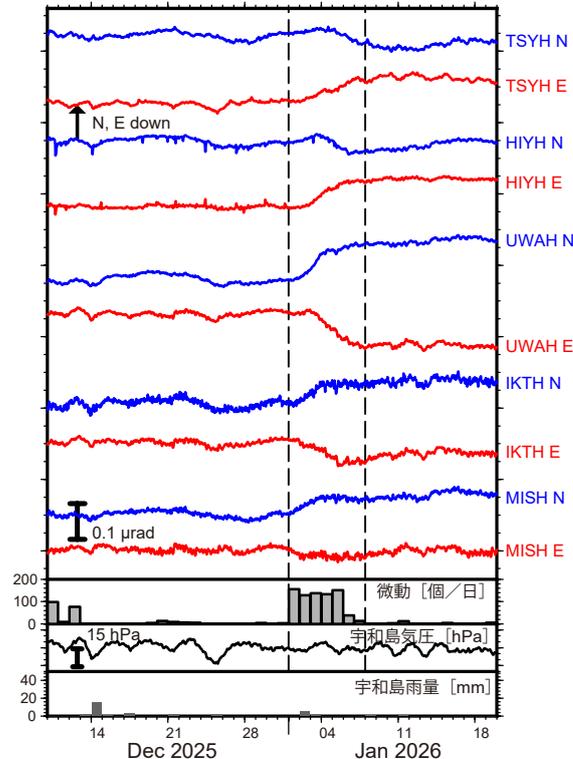


図2：2025年12月10日～2026年1月19日の傾斜時系列。上方向への変化が北・東下がりの傾斜変動を表し，BAYTAP-Gにより潮汐・気圧応答成分を除去した。1月1日～7日の傾斜変化ベクトルを図3に示す。四国西部の微動活動度・気象庁宇和島観測点の気圧・雨量をあわせて示す。

2025年6月（Mw 6.3）以来約6ヶ月ぶり

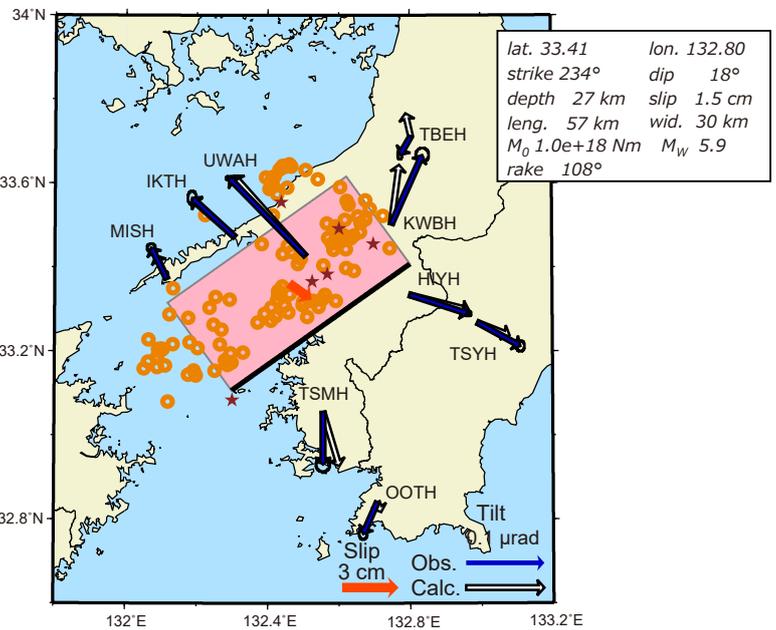


図3：2026年1月1日～7日に観測された傾斜変化ベクトル（青矢印），推定されたスロースリップイベントの断層モデル（赤矩形・矢印），モデルから計算される傾斜変化ベクトル（白抜き矢印）を示す。1時間ごとの微動エネルギーの重心位置（橙丸），深部超低周波地震の震央（茶星印）もあわせて示す。すべり角はプレート相対運動方向に固定している。

謝辞
 気象庁のWEBページで公開されている気象データを使用させて頂きました。記して感謝いたします。